

「佐久市健康長寿産業振興 推進協議会」からの報告

平成31年2月14日

健康長寿産業活性化事業及び佐久産業支援センターの主な活動実績

期 日	内 容
平成30年3月30日	・任意団体「佐久産業支援センター」設立
平成30年6月1日	・「一般社団法人佐久産業支援センター」設立（法人へ移行）
平成30年6月29日	・産業支援センター設立記念式典 記念講演「2018年の世界経済と日本経済の動向」 ～世界から見た日本のものづくりとヘルスケア産業の未来～ 講師：野村証券グローバル・リサーチ本部 和田木 哲也 氏
平成30年8月27日	・佐久市健康長寿産業振興推進協議会開催 佐久市健康長寿産業振興ビジョンの進行管理
平成30年9月6日	・長野県医療ヘルスケア産業展示商談会への出展支援
平成30年9月20日	・第1回プレメディカルケア産業開発支援プロジェクト開催 プレメディカルケアデザインに関する講演・ワークショップ
平成30年10月25日	・第2回プレメディカルケア産業開発支援プロジェクト開催
平成30年12月6日	・第3回プレメディカルケア産業開発支援プロジェクト開催
平成31年1月24日	・第4回プレメディカルケア産業開発支援プロジェクト開催

【その他産業支援センターによる個別企業等支援実績（H31.1月現在）】

- ・新商品開発支援：9件（うち、ヘルスケア関連7件）
- ・販路拡大支援：4件（うち、ヘルスケア関連4件）

「佐久産業支援センター」について

名称 一般社団法人佐久産業支援センター（SOIC）

※SOIC（ソイック）はSaku Open Innovation Centerの略

所在地 佐久商工会議所会館 2階（佐久市中込2976-4）

年会費 一般会員：2万/口、特別会員：2万 + 10万円/口
パートナー会員：10万円/口、支援会員：無料

会員 一般会員：39社、特別会員：12社、パートナー会員：0社、
支援会員：13団体、設立会員：6団体（H31.1月現在）

職員 産業支援コーディネータ 3名

機能

- ①佐久の強み(地域資源)を生かしたヘルスケア関連分野の産業振興
- ②既存事業拡大と技術連携による新製品・新サービス等の開発支援
- ③関係機関との連携・ネットワークの強化

健康長寿産業活性化事業における「健康長寿」を生かした産業振興の推進を担う

コーディネータ紹介

センター長(兼産業支援コーディネータ)

氏名	稲生 寿穂 氏(業務執行理事としてセンター業務の総括担当)
経歴・保有スキル	大手電機機器メーカー出身。医療機器用センサーデバイス等の開発・事業運営の経験を有する。生体情報処理の要である幅広い分野のセンシングデバイスや信号処理技術に明るく、産学官の連携を支援できる。 更に、長野県テクノ財団にて、国の重点産業分野であるメディカル・ヘルスケア関連の産業育成コーディネータとして業務を推進。国・県・大学及び大手企業とのネットワークを保有している。

産業支援コーディネータ

氏名	丸山 隆男 氏(事業経営強化担当)
経歴・保有スキル	大手情報通信システムメーカー出身。コンピュータ・ストレージシステムの開発者として、マーケティング、デバイス・装置・システム技術に幅広い知識、経験を有する。また、国内工場及び海外拠点への赴任を通じて、国内外の生産における品質、原価、サプライチェーンにも精通している。新事業に向けた製品開発や販路開拓などにおいて、企画・開発・生産・サプライチェーン・保守のトータルプロセスで総合的な支援ができる。

産業支援コーディネータ

氏名	飯塚 芳良 氏(経理・総務担当)
経歴・保有スキル	大手精密機器・デバイスメーカー出身。経理・情報システム・人事労務・企画に従事し、企業の上場、海外事業の立上げ、経理、税務、株主総会等幅広い見識を有し、法人の経営実務及びマネジメント等の業務遂行において能力を発揮できる。

「長野県医療ヘルスケア産業展示商談会」出展支援

日 時 平成30年9月6日（木）

場 所 東京都文京区本郷3-39-15（日本医療機器協会）

主 催 長野県、（公財）長野県テクノ財団

医療機器製販業社が集積する文京区本郷地区の企業400社と長野県内を中心とする企業のビジネス商談会

ヘルスケア関連産業への参入に関心がある(株)協和（半導体の顕微鏡検査及び精密機器製造）の出展を佐久産業支援センターが支援し、同社の医療機器業界とのビジネスマッチングの機会を創出



「第1回プレメディカルケア開発支援プロジェクト」開催

日 時 平成30年9月20日（木）

場 所 佐久大学4号館 4103教室

主 催 佐久産業支援センター、長野県佐久地域振興局、日本医療福祉デザイン協会

共 催 学校法人佐久学園

目 的 健康長寿・産業振興に向け「医療」「ものづくり」「教育」の3つの現場をつなぎ、産・学・医・民・官の共創により、価値創造型商品・サービス開発を目指す。

ものづくり・サービス企業、医療・介護機関、学術機関、金融機関、自治体、医療製販企業等から40名の方に参加いただき、日本大学芸術学部デザイン学科佐藤教授、東京造形大学デザイン学科中林教授、TEKO Design柴田代表及び主催者によるパネルディスカッション、意見交換を実施

終了後、名刺交換交流会を行い、今後のプロジェクトの継続及び発展に向けて参加者同士の親睦を深めた。



「第2回プレメディカルケア開発支援プロジェクト」開催

日 時 平成30年10月25日（木）

場 所 佐久大学4号館 4103教室

開催概要

- (1) 医療・福祉施設におけるニーズ紹介
浅間総合病院、恵仁会くろさわ病院、佐久総合病院から医療・福祉の現場におけるニーズ（こういう機械・器具があったら便利等）を紹介
- (2) ものづくり企業のシーズ紹介
ウインテック(株)、(株)協和、(株)ナルコム、(株)西軽精機、マイクロコントロールシステムズ(株)、マイクロストーン(株)の6社から、保有するシーズ・技術を紹介
- (3) ワークショップ
デザイン関係の講師先生の指導により、医療・福祉、教育、企業等混成の5チームに分かれ、「プレメディカルの視点から佐久の未来を語る」をテーマにワークショップを実施。最後に各チームから結果発表



「第3回プレメディカルケア開発支援プロジェクト」開催

日 時 平成30年12月6日（木）

場 所 佐久平プラザ21

開催概要

- (1) 講演会「ヘルスケアからヘルスシェア
個から集合体の健康へ」
講師：tenrai(株) 代表取締役医師 桐村里沙 氏
 コンセプト 桐村一平 氏
- (2) トークライブ
「ヘルスケア環境とデザインの現場から、これからの社会に必要なこと」
tenrai(株) 代表取締役医師 桐村里沙 氏
 コンセプト 桐村一平 氏
東京造形大学デザイン学科 中林鉄太郎教授
- (3) 企業シーズの紹介
「医療機器の製造現場から医療の現場、ものづくり現場の旬」
講師：(株)シズン 佐藤直樹 氏
- (4) ワークショップ
「佐久の健康長寿に必要なこと・もの」をテーマに
ワークショップを実施。最後に各チームから結果発表



「第4回プレメディカルケア開発支援プロジェクト」開催

日 時 平成31年1月24日（木）

場 所 佐久大学4号館 4103教室

開催概要

- (1) 講演会「人に優しい”着る”ロボットcurara®の
歩行支援技術とその開発体制」
講師：信州大学特任教授 橋本 稔 氏
- (2) 参画事例
「自社のコア技術を生かした産学官連携事業への参画」
発表：ナビオ(株) 代表取締役 荻原明雄 氏
- (3) 講演会
「足から始める健康づくり 佐久大学 足育のご紹介」
講師：佐久大学看護学部・大学院教授 坂江 千寿子 氏
- (4) 企業シーズ
「地方地域のこれからの医療とビジネスへの取り組み」
講師：パラマウントベッド(株) 担当課長 水上 渉 氏
- (5) ワークショップ
「健康長寿社会に向けた産学医連携に必要なこと」を
テーマにワークショップを実施。最後に各チームから
結果発表

